令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- Ⅱ マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- Ⅲ スポーツを通じたインクルーシブな社会(共生社会)の構築
- · IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 i
- Ⅴ スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 いわき市立平第五小学校 】

1実践テーマ	I · Ⅱ · Ⅲ · Ⅳ · ① (複数選択可)
2実施対象者	第6学年 91名
(学年·人数)	
3展開の形式	(1 <u>)</u> 学校における活動
	① 教科名 (総合的な学習の時間)
	②行事名(
	③ その他 ()
	(2) 地域における活動
	① イベント名()
	② その他 ()
4 目標	(1)東京2020オリンピック・パラリンピックに関する情
(ねらい)	報収集に努め、来る東京オリンピックに対する児童の気運を
	高める。 (2)私たちの住む地域にある競技施設とオリンピック・パラリ
	ンピックの関わりについて知る。
	- うとううの気がらにしてんぱる。 - (3)オリンピアンを招き、オリンピックでのエピソード、競技
	における苦難や努力についての話しを伺い、より高い目標を
	立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけず努力して
	やりぬく心を育てる。
5 取組内容	1 事前指導
	(1)メディアを活用した「東京 2020 オリンピック」に関す
	る情報収集の実施。
	(2)いわき市ゆかりのオリンピアン、ロンドン五輪チームスプ
	リント 8 位入賞・東京オリンピック男子ケイリン・スプリ
	ント出場の新田祐大選手を迎え、学区にある「いわき平競輪
	場」で体験学習をすることを伝える。
	(3)いわき市依頼「自転車競技:新田祐大選手」応援動画作成
	への協力
	(4)調べ学習
	①オリンピックについて ②講師:新田祐大選手について
	②いわき平競輪場について
	2 事業当日
	4

(1) 講話「オリンピック・自転車競技『KEIRIN』から学んだこと」

オリンピアン (新田祐大さん) が、自転車競技をするうえで大切にしてきた勝負へのこだわりや支えてくれる人への感謝について、また、夢の実現に向けて頑張ることの大切さについてお話いただいた。



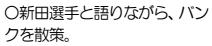


○新田選手が自らパワーポイントを操作しての講話。 ○オリンピック・新田選手の活躍映像に興味津々。

(2) 施設見学 (バンク体験) と記念写真撮影



○「歓迎:平第五小学校」の電 光掲示は、いわき平競輪場から の手厚いお取り計らい。



○斜度がきつくて、転んだり、上まであがれなかったり・・・。









○学級ごとに新田選手との 記念写真を撮影

(3) 走行デモンストレーション

日本競輪選手会福島支部所属、福島県ゆかりの2名の競輪 選手におこしいただき、走行デモンストレーションを行って いただきました。



〇選手が走る姿に大興奮。 風のように速い疾走!



〇女性選手の登場に さらに驚き!!

6 主な成果

○ 新田選手は前日まで大事な競技があり、とても疲れている中であったが、講師を引き受け、児童のために最後まで事業に参加してくださった。

児童はオリンピアンから講話をいただき、たいへん貴重な体験をすることができた。夢の実現に向けて頑張ることの大切さを学ぶことができた。

7実践において 工夫した点 (事業の特色)

- 公営ギャンブルとしての側面が強調されがちである「競輪」 を、「自転車競技」というオリンピック・パラリンピック種目 のスポーツとして教師が見方を変えることができたことで、キャリア教育の視点から地域と結びつくことができたことは大きな成果と言える。
- オリンピックに関わる施設が学区内にあること、その施設 を活用して、世界を目指す競技者が日々努力している姿がある ことを知ることができた点。

8主な課題等

○ 成果は大きいものがあったが、2年に渡るコロナウィルス 感染症の広がりに伴い、「東京2020オリンピック」が延期 されたり、開催が危ぶまれたりしたことで、学習内容を教育 課程に組み込むことや、活動計画を作成することが困難で、 計画性が乏しいトピックス的要素の強い学習になってしまっ たことが課題である。

9来年度以降の実施予定

○ 総合的な学習の時間、地域やキャリア教育を題材とした学習において「いわき平競輪場」の見学を依頼し、今年度の学習や、地域とのパイプをつないでいくこととする。